

山形県立寒河江工業高等学校
学校の特色化・魅力化に関する
アンケート結果について

(令和8年2月)

寒河江工業高等学校産業教育連携協議会

1 調査の概要

山形県立寒河江工業高等学校では、令和5年度より山形県教育委員会が実施する「産業系高校フューチャープロジェクト」の一環としてコンソーシアム「産業教育連携協議会」（以下、協議会）を設置し、地元自治体や産業界・大学等と連携した学校の特色化・魅力化を推進してきた。令和8年度からは学校独自に協議会を運営する予定であり、さらなる特色化・魅力化策が求められることから、令和7年10月2日に開催した第2回協議会において、令和8年度以降の施策の参考となるよう、生徒を対象に学校の魅力化に関するアンケートを実施する提案がなされたため、本校の全生徒234名に令和7年11月下旬から12月上旬にかけて本アンケートを実施したものである。

本アンケートの結果については、令和8年2月実施の第3回協議会において令和8年度以降の施策の参考とする。

2 回答結果の概要

本校生徒の約8割（76.1%）が「とても満足している」「まあまあ満足している」と回答しており、全体として極めて肯定的な評価をしている。入学前の期待である「通学の利便性」や「就職への有利さ」に対し、入学後の「専門知識の習得」「資格取得」「新校舎の快適性」が的確に伝えられているとの回答が多く、実利と環境の両面で期待に答えていると言える。

（1）分析結果のポイント

- ア) **入学の動機及び決め手** 「自宅からの近さ」と「就職の有利さ」という理由が主であり、保護者や中学校教員の助言が大きな影響を与えている。また、広報媒体以上にオープンスクール等の実体験が入学の決め手となっている。
- イ) **教育内容への評価** 「専門知識・技術の習得」及び「資格取得」に対する満足度が高く、生徒はこれらを自身の将来に向けた最大の武器と捉えている。後輩へ進めたいポイントもこの点に集中している。
- ウ) **入学後の課題** 「男女比の偏り」や「座学（専門理論）の多さ」という点で、入学前のイメージとの乖離を感じる生徒が一定数いる。工業教育の特性について、座学的重要性を入学後に繰り返し説明する必要性を示唆している。
- エ) **多様な進路意識** 伝統的な就職志向に加え、「工業系大学への進学」を視野に入れた教育する生徒も就職希望者と同程度で存在している。また、ICT活用や語学力、科目選択の柔軟性等、多様なスキルの習得を求める声もある。
- オ) **学校のさらなる活性化と生活環境の充実への期待** 文化祭や部活動などの教育活動のさらなる活性化、購買の拡充や食堂の設置等を求める声など、活力ある学校生活への期待がみられる。

（2）今後の展望

今後は、本校の強みである「資格・技術・新校舎」を軸とした情報発信を継続しつつ、進学希望者への対応や、座学と実習の両立の必要性について理解促進を図る。また、生徒の知的好奇心に応えるカリキュラムの検討や、多様なスキルの習得機会を拡充することで、さらなる教育満足度の向上を目指す。一方で、文化祭やオープンスクール等の充実や購買等の福利厚生充実とあわせて、SNSの活用等を通じて情報を発信し、「ものづくり」の魅力を今後も伝えていくことも重要である。

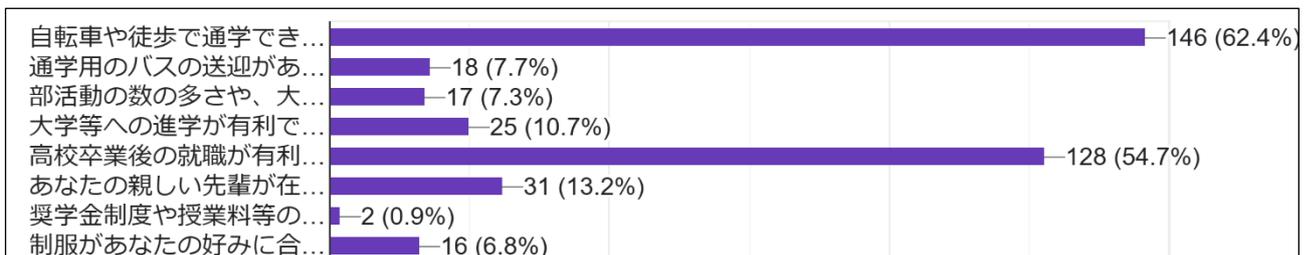
3 各質問項目に対する回答結果の分析

問1 高校を選ぶ際に、どのようなことを重視しましたか。(複数選択)

○「近さ」と「就職」 通学の利便性と卒業後のキャリア形成を重視。

○堅実な選択 ブランドや部活よりも、生活に直結する学習効率の良さと将来の安定性を優先。

＜主な回答（回答数）＞
自転車や徒歩で通学できるなど自宅からの距離が近いこと（146）
通学用のバスの送迎があること（18）
部活動の数の多さや、大会等で実績があること（17）
大学等への進学が有利であること（25）
高校卒業後の就職が有利であること（128）
あなたの親しい先輩が在籍していたり、友人が入学を希望していたりすること（31）
奨学金制度や授業料等の免除制度があること（2）
制服があなたの好みに合っていること（16）

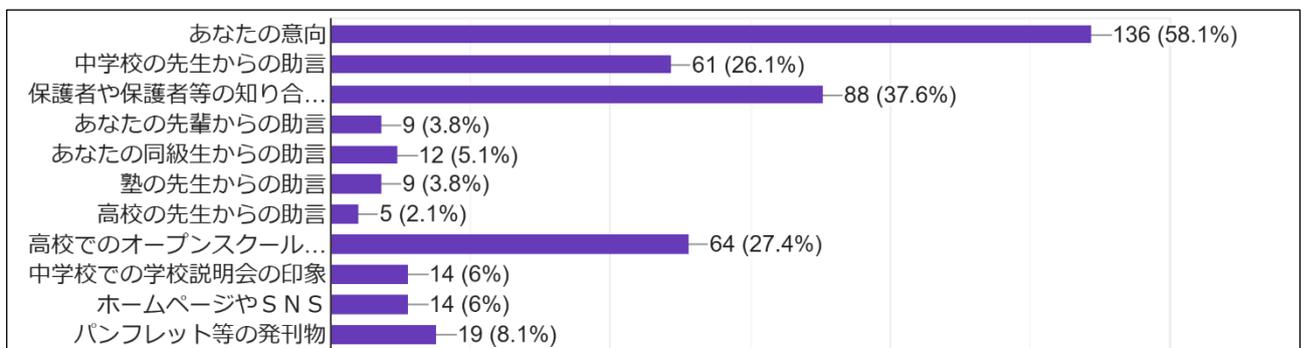


問2 あなたが寒河江工業高校に入学する決め手となったことは何ですか。(複数選択)

○身近な助言と本人の意思 本人の意向に加えて、保護者や中学校教員の助言が強く影響している。

○体験重視 SNS やパンフレット等の媒体よりも「オープンスクール」での実体験が決め手となった回答も多い。

＜主な回答（回答数）＞
あなたの意向（136）
中学校の先生からの助言（61）
保護者や保護者等の知り合いの方からの助言（88）
あなたの先輩からの助言（9）
あなたの同級生からの助言（12）
塾の先生からの助言（9）
高校の先生からの助言（5）
高校でのオープンスクールや体験入学の印象（64）
中学校での学校説明会の印象（14）
ホームページやSNS（14）
パンフレット等の発刊物（19）

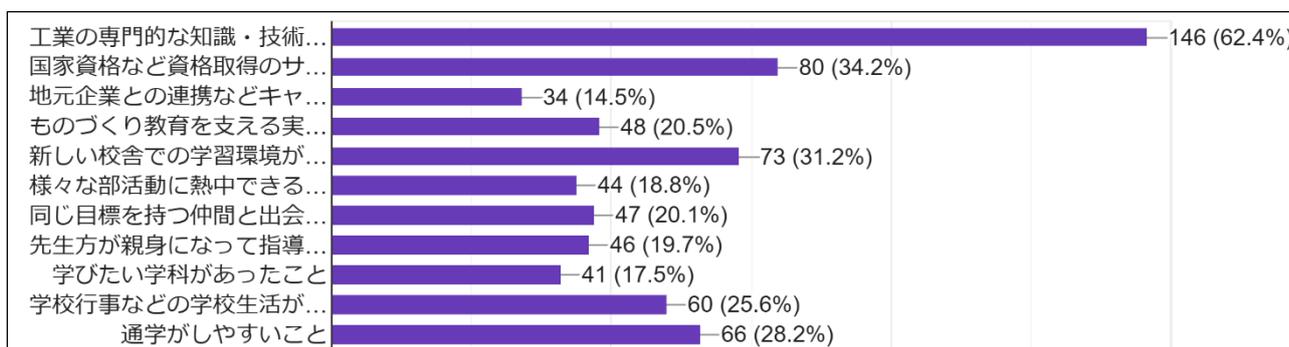


問3 あなたが寒河江工業に入ってみて良かったところは何ですか。(複数選択)

○実利への高い満足度 専門知識の習得、資格取得、通学のしやすさ。

○環境の魅力 「新校舎」の快適さと学校行事の楽しさが、学校生活の質を底上げしていると思われる。

<主な回答(回答数)> □工業の専門的な知識・技術が身についたこと(146) □国家資格など資格取得のサポートが手厚いこと(80) □地元企業との連携などキャリア教育が充実していること(34) □ものづくり教育を支える実習設備が充実していること(48) □新しい校舎での学習環境が快適であること(73) □様々な部活動に熱中できること(44) □同じ目標を持つ仲間と出会えたこと(47) □先生方が親身になって指導してくれること(46) □学びたい学科があったこと(41) □学校行事などの学校生活が楽しいこと(60) □通学がしやすいこと(66)

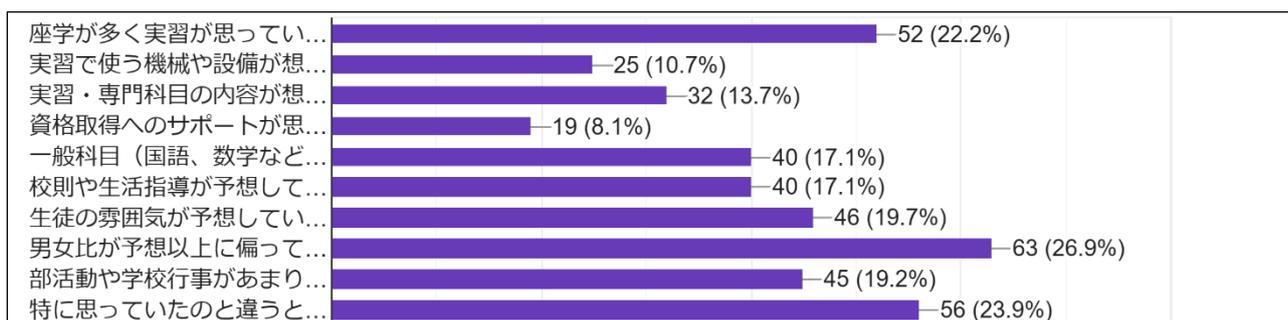


問4 あなたが寒河江工業に入ってみてちょっと思っていたのと違うと感じたのはどんなところですか。(複数選択)

○期待との一致 設備や資格サポートへの不満の声は極めて低く、教育の本質的な部分について信頼されていると言える。

○期待とのずれ 「男女比の偏り」と「座学の多さ」に一部戸惑いの声がみられる。

<主な回答(回答数)> □座学が多く実習が思っていたより少なかった(52) □実習で使う機械や設備が想像していたものと異なっていた(25) □実習・専門科目の内容が想像していたものと異なっていた(32) □資格取得へのサポートが思っていたほど手厚くなかった(19) □一般科目(国語、数学など)の授業のレベルが予想と異なっていた(40) □校則や生活指導が予想していたものと異なっていた(40) □生徒の雰囲気予想していたものと異なっていた(46) □男女比が予想以上に偏っていた(63) □部活動や学校行事があまり盛んではないと感じた(45) □特に思っていたのと違うと感じた点はなかった(56)

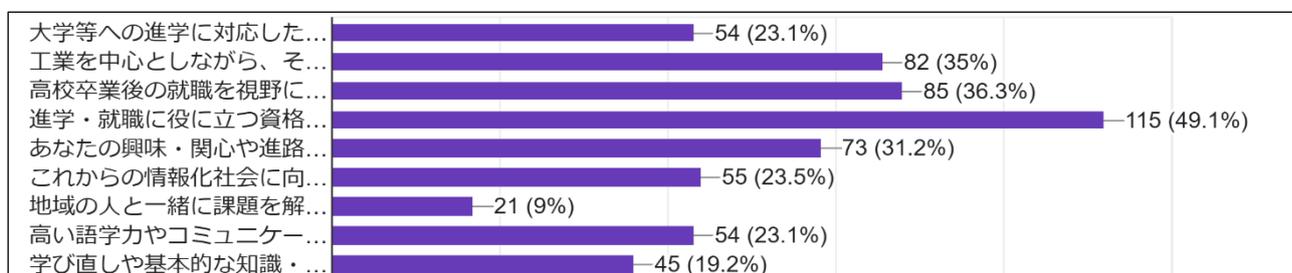


問5 あなたは高校の教育について、どんなことを望みますか（複数選択）

○資格と進路の両立 圧倒的な「資格取得」希望に加え、「就職」と「工業系大学進学」の双方が求める声がある。

○学びの多様化 科目選択の柔軟性や、ICT・語学といった現代的スキルの習得を希望する声がある。

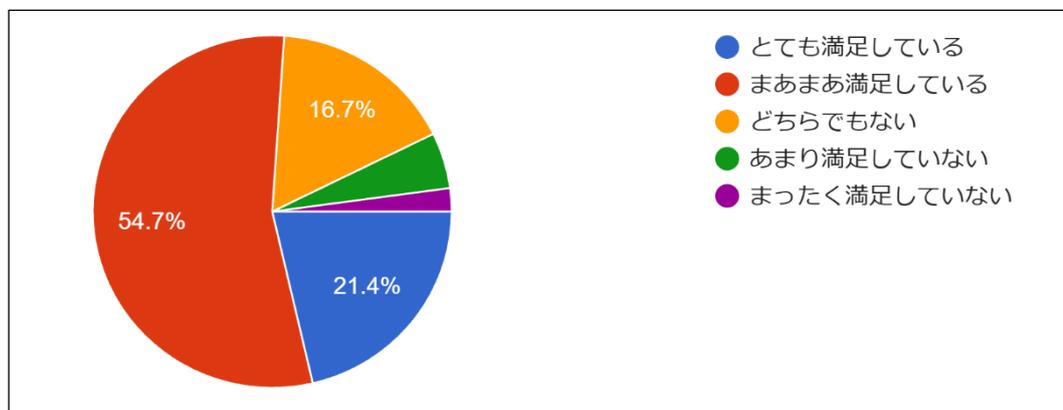
<主な回答(回答数)> □大学等への進学に対応した高い学力を身に付ける教育 (54)
 □工業を中心としながら、その分野の大学等への進学にも対応できる教育 (82)
 □高校卒業後の就職を視野に、専門的な知識や技術の習得のための教育 (85)
 □進学・就職に役に立つ資格取得のための教育 (115) □あなたの興味・関心や進路希望に応じて、学びたい教科や科目が選択できる教育 (73) □これからの情報化社会に向けて、ICTを積極的に活用した教育 (55) □地域の人と一緒に課題を解決する学習を行う教育 (21) □高い語学力やコミュニケーション能力を身に付ける教育 (54) □学び直しや基本的な知識・技能の習得ができる教育 (45)



問6 あなたの寒河江工業高校の満足度はどれくらいですか。（選択式）

○8割近くが肯定的 満足層が76.1%と高い。入学前の進路希望（就職・近さ）に対し、入学後の成果（技術・環境）が的確に応えられている。

<回答(%)> □とても満足している (21.4) □まあまあ満足している (54.7) □どちらでもない (16.7) □あまり満足していない (5.1) □まったく満足していない (2.1)



問7 問6のあなたの満足度について、そのように回答した理由を記入してください。

(自由記述)

<6の回答に対する主な理由>

1 とても満足している / まあまあ満足している : 21.4% / 54.7%

前向きな回答が非常に多く、学校生活全般への充実感が伺える。

○学習・資格 専門分野の勉強が楽しい、多くの資格取得ができる、資格試験のサポートが手厚い。

○実習 実習でものづくりができる、実際の技術に触れられるのが楽しい。

○友人・人間関係 友達が多く楽しい、友達が優しい、人間関係が良好。

○環境・行事 学校祭などの行事、部活動の活発さ(部活が強い)、面白い先生。

○その他 通学が楽、設備が綺麗、想像以上に充実している。

2 どちらでもない : 16.7%

特に意見はない、あるいは一長一短あると感じている。

○現状維持 特に不満はない、「普通」「なんとなく」。

○条件付き 楽しいけれど校則が厳しい、一部不便さを感じる。

○その他 特になし。

3 あまり満足していない / まったく満足していない : 8.1% / 2.1%

少数だが、環境やルール、人間関係における具体的なストレスが理由となっている。

○校則・制限 校則が厳しい、スマホの使用制限、制約が多い。

○人間関係・対応 教員の対応への不満、理不尽に怒られる、連絡が遅い。

○環境面 女子が少ない(男女比への不満)、紛失・盗難などのトラブル。

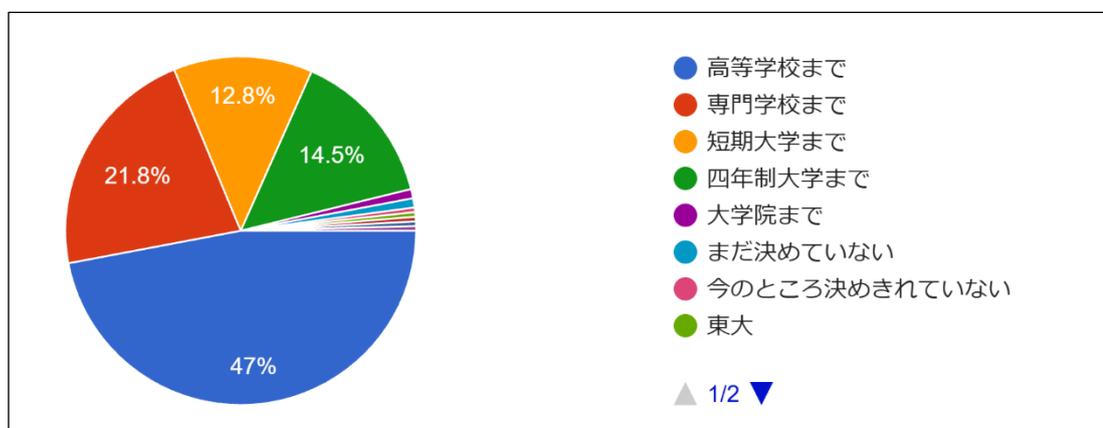
○学習・設備 授業内容への不満、実習環境や設備の不足。

問8 あなたはどの程度まで教育を受けたいと思っていますか。(選択式)

○「高校まで」が最多 回答者の約半数(47.0%)が高校卒業後の就職を希望。

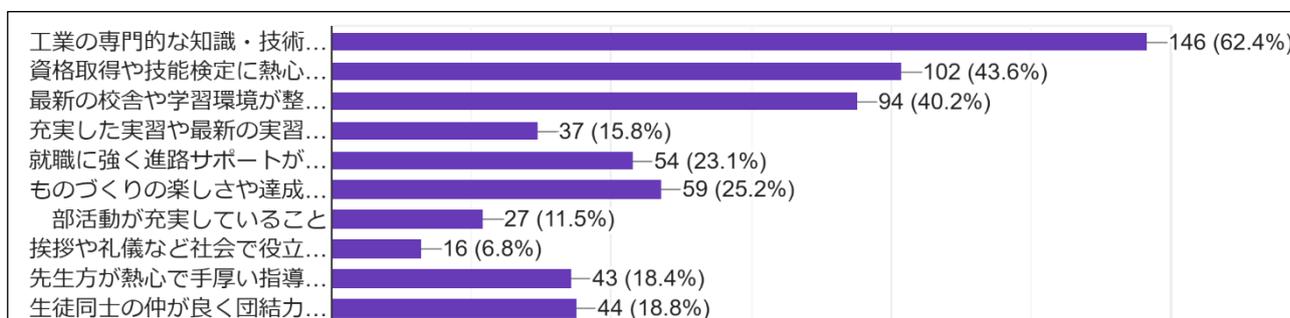
○「実利・スキル」重視 大学(14.5%)よりも、特定の職業に直結する専門学校(21.8%)を希望する割合が高い。

<主な回答(%)> □高等学校まで(47.0) □専門学校まで(21.8) □短期大学まで(12.8) □四年制大学まで(14.5)



問9 あなたが寒河江工業高校について後輩に伝えたいポイントはどんなところですか。
(複数選択)

- 「技術・資格・新校舎」 「最新の環境で武器(資格)を手に入れる」という積極的な価値観を持った回答が多い。
 - 内面的な成長 入学前の「就職目的」から、入学後は「学ぶこと自体の価値」を伝える傾向へ変化している生徒もみられる。
- <主な回答(回答数)> □工業の専門的な知識・技術が身につくこと(146) □資格取得や技能検定に熱心に取り組める環境(102) □最新の校舎や学習環境が整っていること(94) □充実した実習や最新の実習・実験設備(37) □就職に強く進路サポートが手厚いこと(54) □ものづくりの楽しさや達成感を味わえること(59) □部活動が充実していること(27) □挨拶や礼儀など社会で役立つ人間力が磨かれること(16) □先生方が熱心で手厚い指導を受けられること(43) □生徒同士の仲が良く団結力あふれる学校の雰囲気(44)



問10 あなたは寒河江工業高校がこうなったらもっと良くなると思うのはどんなところですか。入学者が増えるような、あなたが考える「もっと良くなる方法」を教えてください。(自由記述)

1 全体的な傾向

生徒の回答からは、母校に対する「もっと活気ある学校になってほしい」という期待と、日々の生活環境をより良くしたいという切実な願いが読み取れる。大きく分けて以下の5項目でまとめた。

2 多くみられる回答例

(1) 福利厚生と生活環境の充実(最も多い項目)

多くの生徒が「食」に関する環境整備を求める回答が多い。

- 購買・自動販売機の拡充 軽食(パン等)の購入場所を求める声が多い。生徒が放課後の部活動や資格試験勉強に空腹感を満たして集中するために必要だと考えているようだ。
- 安心・安全な環境づくり 防犯意識の向上や清掃の徹底など、落ち着いて学習に取り組める環境維持への要望が出ている。

(2) 学校行事と部活動の活性化

「工業高校=硬い」というイメージを払拭し、生徒自身が楽しめる学校にしたいという回答がみられる。

- 文化祭のさらなる充実 準備期間の確保や内容の充実により、生徒の主体性と創造性を発揮する場として文化祭をより盛り上げたいという意見がある。

○部活動の振興 施設改善や活動時間の最適化により、部活動を活性化させ、学校全体の士気を高めたいという意見がある。

(3) 広報戦略とイメージアップ

中学生に対し、工業高校の「本当の楽しさ」を伝えるための具体的な意見が豊富に出された。

○SNS を活用した情報発信 インスタグラム等で、実習の達成感や休み時間の和やかな雰囲気を「生徒目線」で発信することが有効だと考えている。

○「ものづくり」の魅力発信 初心者でも興味を持てるような、専門性の高い実習内容を分かりやすくアピールするべきだという意見がある。

○女子生徒へのアピール 男女問わず充実した生活が送れることを広め、多様な生徒が集まる環境づくりを提案している。

(4) 学習・資格取得支援

工業高校の強みである「資格」と「進路」についての建設的な意見が多い。

○スケジュールの効率化 定期テストと資格試験が重ならないような配慮を求める声があり、これは合格を目指したいという学習意欲の表れだと言える。

○他校交流の促進 県内の他の工業高校との情報共有や交流会を通じ、互いに高め合いたいという意見がみられる。

(5) 校則・規律のあり方についての対話

一部、携帯電話の使用などルールの緩和を求める声もあるが、その背景には「生徒の自主性を尊重してほしい」という気持ちがあるようだ。

○自律心の育成 単に「ゆるくする」のではなく、今の時代に合ったルールへの見直し、生徒会活動の自由度を高める等、生徒が自ら責任を持って行動する機会を求めている。

○マナーの向上 挨拶や清掃など、当たり前のことを徹底すべきであるという自省的な意見もみられる。

3 まとめ

生徒は、寒河江工業高校の「設備が綺麗」「団結力が高い」「資格が取れる」といった強みを自覚している。出された様々な意見について、実現の可能性を検討する必要があるが、行事や購買の充実等「日常のワクワク感」をさらに高め、情報発信を通じた「外部への見せ方」をうまく活用できれば、さらに魅力的な学校になると考えているようだ。